

愛寿会だより

5 月号
第 131 号
平成 22 年
5 月 1 日発行



利用者のために

後援会へのご加入を

後援会長 中山 賢一

愛寿会は、特別養護老人ホーム仁生園や障害者支援施設第二仁生園を経営するなど八ヶ岳南麓をはじめ山梨県の福祉施設の先駆者として地域福祉に貢献してきました。

そして、開所以来の建物が時代の要請で近代化が求められたことなどから、平成十五年度に特別養護老人ホーム仁生園の改築から平成十九年度の障害者自立支援ホーム第二仁生園の建設へと整備が進められ現在の状態になりました。

このように、施設整備により利用者が快適に生活が出来るようになりましたが、運営面では国による介護保険制度や福祉全般について見直しが進められ、将来に向けて入所者にきめ細かいサービスを提供することが難しくなる可能性が予想されたことから、利用者へのサービスを物心両面から支援する方策が検討され、その結果、平成十九年五月に「社会福祉法人 愛寿会後援会」が発足しました。

以来三年が経ちました。平成二十一年度の状況ですが、会員数は三百人を超え、ご寄付いただいた額は二百三十万円となっています。

発足以来今日までの善意の総額は実に一千万円に達しようとしています。

これらの寄付金は入所者が毎年楽しみにしている夏祭りの経費や補助対象にならない備品の整備、それに職員研修会の経費等に充てられました。

平成二十二年度の事業は、テレビ放送が平成二十三年七月二十四日をもって地上デジタル放送に変わることから、平成二十二年度中にデジタル放送に対応したテレビに入れ替えるものが主です。そのほか、例年行なわれている夏祭りや職員の勉強会への補助等がありますが、それらは国・県補助対象にならない事業や利用者だけに負担を求めるものではありません。どうか、この愛寿会後援会の活動をご理解していただき多くの方々のご加入により「利用者の支援のために」使わせて頂きますので後援会への入会をよろしく願います。



平成 21 年 10 月 9 日・後援会のご支援のもと開催された介護福祉士資格取得のための第 1 回事前講習会の様子です。

後援会の皆様に感謝！

理事長 小澤 澄夫

後援会の皆様には文字通り感謝です。

時節柄仁生園、第二仁生園とも経営は容易ではありません。そして、経営の裏づけである介護報酬・障害者支援費は三年毎の見直しとなつていますが、そのつど引き上げられるとは限りません。前々回は引き下げられました。

このようなとき、夏祭りの費用をはじめ、介護福祉士資格取得のための事前講習会の開催など、数々の分野に支援の手を差し延べていただく：こんなありがたいことはありません。そしてまた、本年度は三十五台の旧式テレビを一挙に地デジ対応に更新して下さるという：考えられないお力添えで言葉もありません。

私ども役職員と致しましては、ただただこのご好意にお応えするために、利用者の皆様に一層ご満足いただけるよう接しなければならぬと思っております。

ここに改めて関係各位に深甚な謝意を表すると共に今後も変わらずご支援賜りますようお願い申し上げます。

広報委員会から…

五月号は愛寿会だよりと後援会報の合同号にしました。ご了承願います。



利用者の皆様のために
一生懸命がんばります

愛寿会法人事務局長

清水 元義

四月一日付で小尾章臣（あきとみ）法人事務局長が愛寿会常務理事・仁生園園長に就任されました。その後任の命を受けてから早くも一ヶ月になります。

私は、長坂町役場に二十九年、合併した北杜市に六年、合せて三十五年間勤めました。人事・財政など内部管理の仕事が多く、福祉関係の仕事は必ずしも長くありませんでした。しかし、自宅が仁生園と地続きのところにあるものですから、愛寿会創設当時の事情、或いはその後の変遷等よく知っています。また、職員の何人かとご交誼をいただいています。未知の職場に就いたという感じはありません。

その仁生園で仕事をさせていただくこと心から感謝しています。もとより、浅学非才ではありますが、一隣り（いちどなり）に住んでいるため、何かあれば三十秒で駆けつけることができます。火急の場合に限らず、夜も昼も入所者の皆様、そのご家族各位、また職員の皆様のために、身を粉に努めて参ります。どうか何分のご指導とご鞭撻（べんたつ）のほどを心よりお願い申し上げます。

看護師・准看護師

勤務日や勤務時間はご希望に添えるよう配慮します。給与その他委細面談。

仁生園・第二仁生園に勤めながらヘルパー二級をとりたい方

国・県の雇用対策事業によるものです。応募者は園の臨時職員となつたうえ、ヘルパー二級資格を取得するよう勉強することになります。勉強のないときは仁生園とか第二仁生園の仕事をするようになります。

給料は愛寿会が国から委託を受けて支払います。一ヶ月当たり基本給十七万六千円、一年間が上限です。そのほか夜勤手当、交通費等が支払われます。それとは別に、受講料、教科書代等として

愛寿会では次の職員を募集しています
お尋ねは 〇五五一一三二一一三三四〇まで

十万円ほどを負担する仕組みです。資格取得後のことですが、施設側と受講者が話し合って引き続き職員として勤めるのが基本です。ただし、話し合いの結果によって、別の施設に勤めるもよし、転職するも可…という弾力的な制度です。

仁生園・第二仁生園での事務補助・介護補助・作業補助などの臨時職員

雇用期間は最長六ヶ月間です。働きたいが働くところがないという方に臨時応急に職場を提供するものです。日給八千円が標準です。別に通勤手当が支給されます。介護補助の場合は継続雇用することがあります。

仁生園・第二仁生園利用料納入のお願い

仁生園・第二仁生園の利用料は、入所時のお約束に基づき、毎月二十五日（その日が休日のときにはその翌日）に利用者名義の山梨中央銀行口座から引き落とさせていただきます。ところ、ホンの二、三例ですが、毎月のように口座から引き落とせない方がいます。口座に振り込むのを失念されたのではないかと考え失礼がないように丁重にお願いして

最初に申し上げましたように、口座からの引き落としは毎月二十五日（その日が休日のときにはその翌日）と決まっています。ぜひその前に口座の残高をお確かめ下さるなど必要な措置を講じて下さいませようお願い申し上げます。

愛寿会後援会報

四月二十日に後援会総会が開かれました

まず、平成二十一年度の事業報告と決算が認められ、続いて平成二十二年度の事業計画と予算（収入支出とも八百五十余万円）が議決されました。

そのあらましは以下のとおりです。

平成二十一年度の事業報告と決算

会員数が二百人を超えました

平成二十年度末は終身会員十二人、通常会員百二十六人、合わせて百三十八人でした。二十一年度中に終身会員四人、通常会員百八十二人が増え、終身会員十六人、通常会員三百八人合わせて三百二十四人となりました。発足年に比べ二、五倍近い会員になりました。

会員による収入二百三十万円

会員の皆様による善意の額は二百三十万円に達しました。感謝のほかありません。

仁生園・第二仁生園の夏祭り…

例年のとおり全額後援会負担で実施

仁生園の夏祭りは八月七日でした。入所者の皆さんによる「これから音頭」、「武田節」、

「銀座カンカン娘」、「きよしのソーラン節」等々盛り沢山の演し物（だしもの）に三百人を超える参加者の拍手鳴り止まずでした。

長坂町の「甲州八ヶ嶺太鼓」の皆さんの賛助出演もありました。

一方、第二仁生園の夏祭りは七月二十九日に行われました。南京玉すだれ、ジャズバンド、ハワイアンダンス、混成合唱など繰り広げられ盛大を極めました。



第二仁生園での練習風景…平成 22 年の夏祭りにそなえての練習が日ごとに熱を帯びて来ています。

機能訓練を兼ね第二仁生園に太鼓四基を贈りました

かねて、入所者の皆さんから機能訓練を兼ねた太鼓を叩（たた）きたいとの希望がありましたので大太鼓二基、中太鼓二基を後援会の費用で買い揃えました。毎日機能訓練やレク活動に利用しています。

夏祭りのときには、ねじり鉢巻きの入所者

の皆さんに加え、職員も総出で太鼓を中心とする打楽器演奏に汗を流しました。

介護福祉士資格取得のための事前講習会 県立大から講師を招き、二回開催

十月九日と十二月三日の二回、県立大学の伊藤健次先生をお招きし勉強会を開きました。受験希望者全員が参加し瞬き（まばたき）もせず講師の話に耳を傾けました。

介護福祉士の国家試験は年々難しくなっています。平成二十年度の愛寿会関係の合格者数は二名でしたが二十一年度は三名が合格しました。

講習会関係費は全額後援会が負担しました。

平成二十一年度決算

まず、収入ですが、会員皆様による拠出金が二百三十万円。

一方、これまで述べて参りましたようにさまざまな事業を行いました。そのために要した費用は八十万円です。

ですから、平成二十一年度単年度でみまして百五十万円ほど繰越金が発生することになりました。

別に、平成二十年度から二十一年度への繰越金が約五百万円ありましたので、平成二十二年度への繰越金が六百五十余万円という決算になりました。

平成二十二年年度の事業計画と予算

夏祭り及び介護福祉士資格取得のための事前講習会：本年度も後援会が支援

仁生園及び第二仁生園の夏祭りに要する費用は本年度も後援会が負担することとします。九十万円を予定しています。

介護福祉士資格取得のための事前講習会は前年度同様二回開催することとし、十万円を予定しています。

地デジ対応型テレビ購入費

平成二十一年度に仁生園の利用者のテレビについて調査しました。

数台は最近数年内に整えたものですが、三十五台は購入後十年以上を経た旧式なアナログ式です。

については、利用者の娯楽、レクリエーション活動の活性化等の見地から、全額後援会負担により一挙更新を図ることとします。費用としては四百六十五万円を予定します。

第二仁生園作業所にテレビを整備

本年秋には第二仁生園に作業所が完成の見込みです。

記念として後援会が十五万円でテレビを整備することとします。

作業をしたり楽しんだりの空間になるよう願っています。

介護用新製品試行事業費

昨今介護職員の労力軽減、入所者へのサービス向上をうたう新製品が次々と出ています。先ずは、これを試みに使用し、性能の安定性や安全性、或いは効率性等に自信が持てた段階で職場全体に広めていく：そうした試行事業に百万円を計上することになりました。

職員による介護研究会に助成金を支出

仁生園では、十の介護に関する研究グループをつくっています。第二仁生園もこれに準じています。そして全職員が必ず何れかに所属し一年中勉強しています。平成二十一年度に初めて研究結果を集録として刊行しました。二十一年度も第二号をまとめました。二十二年度は研究費用や集録刊行費として十一万円を助成することとしています。

平成二十二年年度予算

会員の皆様による寄付金は二百万円を予定しています。平成二十一年度からの繰越金が六百五十余万円です。合わせて八百五十余万円が収入額となります。

一方、支出ですが、前述の夏祭り費用、介護福祉士資格取得のための事前講習会費、地デジ対応テレビ購入費、介護用新製品試行事業費等で七百二十余万円を予定しています。以上差し引き、平成二十三年度へ百三十余万円を繰り越す予算となっています。

新規加入のお願いと個人会員・法人又は団体会員の皆様へのお願い

ご高齢の皆様、また、心身に障害をお持ちの皆様のために、ふるってご加入、お振込のほどをお願い申し上げます。(同封の振込用紙をご活用願います)

新規加入の方

継続の方

- | | | | |
|------------------------------------|-----------|------------------------------------|-----------|
| <input type="radio"/> 終身会員 | 20万円以上 | <input type="radio"/> 個人会員(年額) | 2,000円以上 |
| <input type="radio"/> 個人会員(年額) | 2,000円以上 | <input type="radio"/> 法人又は団体会員(年額) | 10,000円以上 |
| <input type="radio"/> 法人又は団体会員(年額) | 10,000円以上 | | |

会費の納入先

事務局

山梨中央銀行 長坂支店
 口座名 社会福祉法人 愛寿会後援会
 口座番号 普通預金 番号 563608

郵便局
 口座名 社会福祉法人 愛寿会
 口座番号 00210-8 46492

山梨県北杜市長坂町小荒間1293番地
 社会福祉法人 愛寿会
 電話 0551-32-3340 FAX0551-32-3546